

第47回地域包括ケア事業研究会

第10期以降を見据えた 介護保険制度の在り方を考える

去る6月に閣議決定された骨太の方針では「高齢者人口の更なる増加と人口減少に対応するため、限りある資源を有効に活用しながら、質の高い効率的な医療・介護サービスの提供体制を確保するとともに、医療・介護DXの政府を挙げての強力な推進、ロボット・デジタル技術やICT・オンライン診療の活用、タスクシフト／シェア、医療の機能分化と連携など地域の実情に応じ、多様な政策を連携させる必要がある」と謳われています。その背景には人材不足への対応、保険料負担上昇の抑制などがあります。

誰もが住み慣れた地域で住み続けることができる、地域包括ケアはそれを実現するための仕組みです。人の暮らしはそれぞれ様々ですが、人生の晩年でもそれまでの暮らしを継続するためには、身近で安心な介護や医療が欠かせません。ますます拡大し続ける需要と働き手の減少などに対応するため、介護医療のDX化、生産性向上が推進されていますが、目指すものを忘れては本末転倒になりかねません。現在検討されている新たな地域医療構想においても、かかりつけ医や地域支援病院のあり方など身近な医療のあり方が中心的な課題となっています。

第47回地域包括ケア事業研究会では、施行から四半世紀が経過した介護保険のこれからの在り方や方向性について、厚生労働省老健局黒田秀郎局長をお招きしてお話しいただきます。今回の研究会を通じて、福祉、介護、地域づくりなどこれからの私たちのサービスのあり方を考える機会にさせていただきます。

地域包括ケア事業研究会
代表 山田 尋志

日時

2024年11月9日（土）

研修会 15：30～17：00

懇親会 17：30～19：30

講演

「四半世紀を迎えた介護保険制度」

厚生労働省 老健局長 黒田 秀郎様

会場

研修会 京都経済センター 6階 会議室6-B
(市営地下鉄「四条駅」・阪急「烏丸駅」26番出口から直結)
懇親会 からすま京都ホテル (四条烏丸下る)

定員

会場 60名 オンライン 80名

参加費

一般 2,000円 / 研究会会員・専門委員 1,000円
懇親会 7,500円

申込み

下記 URLまたは 右記よりお申込みください。
<https://x.gd/cLMQa>

×切
11/1



主催

地域包括ケア事業研究会

地域密着型総合ケアセンターきたおおじ内 事務局 (村田)

FAX 075-366-3006 TEL 075-366-8025

Email kitaooji@iaa.itkeeper.ne.jp

研修会場アクセス



住所 京都市下京区四條通室町東入函谷鉾町78番地

公共交通機関をご利用の場合

- ・京都市営地下鉄烏丸線「四條駅」北改札出てすぐ
- ・阪急電車京都線「烏丸駅」26番出口直結
- ・京都市営バス「四條烏丸」徒歩すぐ
- ・京都市営地下鉄「京都駅」より烏丸線乗車3分
- ・阪急電車「河原町駅」より京都線乗車2分
- ・京阪電車「祇園四條駅」下車市営バス「四條京阪前」より乗車約9分

懇親会場アクセス

研修会場「京都経済センター」から烏丸通りを南へ一筋目（綾小路通り）を超えてすぐ

電車をご利用の方

